

杉並区中学生レスキュー隊について

1 趣旨

杉並区中学生レスキュー隊は、中学生の豊かな人間性の育成をめざし、防災意識、社会貢献意識及び自己有用感を高めるために、平成 17 年度から編成され、平成 22 年度には、全区立中学校で編成された。

2 中学生レスキュー隊の意義と役割

- (1) 生徒に将来の自分の生き方について考える機会を与える
- (2) 生徒の「地域の一員」としての自覚を高める
- (3) 生徒の社会貢献意識の高揚を図る
- (4) 地域と協働する学校づくりを推進する
- (5) 地域社会の活性化を図る

3 中学生レスキュー隊の活動区分

(1) 全生徒が行う活動

防災に関わる活動

普通救命講習受講（心肺蘇生法、A E D 操作等）

地域関連ボランティア活動

地域清掃美化活動、近隣諸施設との交流、地域行事（防災訓練）参加

(2) 中学生レスキュー隊の活動

日常的な活動

災害時に役立つ知識・技能を身に付ける活動、地域防災活動（巡回、交流、広報等）

地域の防災行事等への参加

地域防災訓練、震災救援所訓練参加、消防署員等防災専門従事者による講習、地元消防団等との合同活動

(3) 中学生レスキュー隊の発展的活動

学校、地域関連の活動

防災関連組織との合同活動

杉並区中学生レスキュー隊活動指針(イメージ図)

